

授業科目	実践工学		単位数	2	必修		前期		達成 度 の 点 検 (で き る 5 4 3 2 1 で き な い)
一般科目	専門科目	○	選必		選択	○	後期		
受講学生	学科	M・E・S・C全学科		学年	5年		通年	○	
担当教員	佐藤清忠、秋田敏宏、小野宣明、照井教文、貝原巳樹雄、佐々木世治、佐野茂、吉田徹								
授業の 目標概要	実践的技術者育成の一環として知財、工業倫理、技術者を取り巻く環境、経営工学を学び、高度な実践的技術者を求める地域の要請に応える資質を養うことを目標とする。								
対応する本校の教育目標	(C-2)、(C-3)、(D-2)、(E-1)、(E-2)								
履修上の 留意点	実践的技術者に求められている社会人力の入門的な知識を学ぶ。外部講師との関係で授業実施日が移動することがあり、授業連絡に注意すること。講義には提出課題があり、指示された期日までに提出のこと。								
日程	授 業 項 目				評 価 内 容				
前 期	第1週	オリエンテーション			実践工学の意義がわかる				
	第2週	特許概要と特許にまつわるトラブルの事例			特許の概要がわかる(貝原他)				
	第3週	特許明細書の書き方1							
	第4週	特許明細書の書き方2							
	第5週	知財活用の事例紹介と課題による演習(1)							
	第6週	課題による演習(2)							
	第7週	工業倫理の紹介と事例1			工業倫理の概要がわかる(佐々木・佐野)				
	第8週	工業倫理の紹介と事例2							
	第9週	工業倫理の紹介と事例3							
	第10週	工業倫理の紹介と事例4							
	第11週	工業倫理の紹介と事例5							
	第12週	実践的技術者への道1			実践的技術者が持つべき観点がわかる				
	第13週	実践的技術者への道2							
	第14週	実践的技術者への道3							
	第15週	達成度の評価							—
後 期	第1週	経営工学・ものづくり環境1			モノづくりの観点から実践的技術者に必要な現状・考え方がわかる(吉田)				
	第2週	経営工学・ものづくり環境2							
	第3週	経営工学・ものづくり環境3							
	第4週	組織と業務1							
	第5週	組織と業務2							
	第6週	効率的な会議1							
	第7週	効率的な会議2							
	第8週	品質管理1							
	第9週	品質管理2							
	第10週	品質管理3							
	第11週	品質管理4							
	第12週	標準化1							
	第13週	標準化2							
	第14週	技術者とMOT							
	第15週	達成度の点検							
期末試験の回数 (0 回)									
授業時間数 (50 時間)									
評価方法 評価基準	提出課題(100%)により総合的に評価する。詳細は第1回目の授業で告知する。 総合成績60点以上を単位修得とする。								
関連科目	実践創造技術、校外実習、企業実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、法学、経済学、 総合管理技術、インターンシップ								
	書 名			著 者 名		発 行 所		定 価	
教科書									
参考書									
オフィスアワー(教員在室時間)					最初の授業で告知する。				